

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2010-94319(P2010-94319A)

【公開日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2008-268045(P2008-268045)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月14日(2011.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼球の切開創から眼内レンズを挿入する挿入筒と該挿入筒の基端に一对の支持部を有する眼内レンズを載置するための載置部とを有するレンズ挿入部と、軸方向に移動可能に設置され前記レンズ挿入部から前記眼内レンズを押し出すための押出棒を持つ押出手段と、を筒部本体に有し、折り畳まれていない眼内レンズを前記押出棒で押しながら前記挿入筒内壁形状により眼内レンズを折り畳み前記挿入筒先端から送出させる眼内レンズ挿入器具において、

前記押出棒には前記眼内レンズの後方支持部を通すためのスリットが先端から基端側に向かって軸方向に所定の長さだけ形成されていることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 2】

請求項 1 の眼内レンズ挿入器具において、前記スリットの軸方向の長さは前記眼内レンズの周縁が前記押出棒先端に当接した状態で後方支持部の軸方向における最長部分と略同じか、若干短い長さにて形成されていることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 の眼内レンズ挿入器具において、前記押出棒はさらにその先端に前記眼内レンズの周縁を食い込むために上下端部が突出し二股に分かれたくわえ込み形状を有したヘッド部が形成されていることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【請求項 4】

請求項 3 の眼内レンズ挿入器具において、前記ヘッド部の内壁面はヘッド部の底面に向けて内側に湾曲した形状であることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

(1) 眼球の切開創から眼内レンズを挿入する挿入筒と該挿入筒の基端に一对の支持部を有する眼内レンズを載置するための載置部とを有するレンズ挿入部と、軸方向に移動可能に設置され前記レンズ挿入部から前記眼内レンズを押し出すための押出棒を持つ押出

手段と、を筒部本体に有し、折り畳まれていない眼内レンズを前記押出棒で押しながら前記挿入筒内壁形状により眼内レンズを折り畳み前記挿入筒先端から送出させる眼内レンズ挿入器具において、

前記押出棒には前記眼内レンズの後方支持部を通すためのスリットが先端から基端側に向かって軸方向に所定の長さだけ形成されていることを特徴とする。

(2) (1)の眼内レンズ挿入器具において、前記スリットの軸方向の長さは前記眼内レンズの周縁が前記押出棒先端に当接した状態で後方支持部の軸方向における最長部分と略同じか、若干短い長さにて形成されていることを特徴とする。

(3) (1)または請求項2の眼内レンズ挿入器具において、前記押出棒はさらにその先端に前記眼内レンズの周縁を食い込むために上下端部が突出し二股に分かれたくわえ込み形状を有したヘッド部が形成されていることを特徴とする。

(4) (3)の眼内レンズ挿入器具において、前記ヘッド部の内壁面はヘッド部の底面に向けて内側に湾曲した形状であることを特徴とする。